

平成26年度第2回地域ネットワーク部会議事要旨

日 時 : 平成26年7月2日(水) 18:00~19:30

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員 : 13名

出席者 : 10名

宮里 浩(那覇市立病院)、照屋 淳(北部医師会病院)、高江洲 和代(那覇市立病院)、高江洲 アヤ子(那覇市立病院)、翁長 悦子(中部病院)、真鶴 善栄(がん患者会連合会)、佐村 博範(琉大病院)、宮城 みづえ(琉大病院) 増田 昌人(琉大病院)、仲本 奈々(琉大病院)

欠席者 : 上田 真(中部病院)、鈴木 英章(八重山病院)、川満 博昭(県立宮古病院)

陪席者 : 屋良 尚美(中部病院)、南 大介(よりよい地域医療を応援する会)、呉屋 葉子(琉大病院)

[報告事項]

1. 平成26年度地域ネットワーク部会委員 自己紹介

資料1に基づき、地域ネットワーク部会の新委員として、高江洲和代さん(那覇市立病院)、高江洲アヤ子(那覇市立病院)、翁長悦子さん(中部病院)、宮城みづえさん(琉大病院)、真鶴善栄さん(がん患者会連合会)が入ったことが報告された。

2. 地域ネットワーク部会について

佐村部会長より、資料2に基づき、がん診療連携拠点病院の整備に関する指針に、クリティカルパスを整備することが指定されていることや、部会の業務について説明があった。

3. 平成26年度第1回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について

佐村部会長より、資料3に基づき、平成26年度第1回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について報告があり、承認された。

4. がん地域連携クリティカルパスの適用状況について

佐村部会長より、資料4に基づき、3拠点病院のがん地域連携クリティカルパスの適用状況について報告があった。

5. 浦添市医師会との連携について

仲本委員より、資料5に基づき、前々回の話合いで、パスの適用数を増やすためにも、連携の進んでいる浦添市をモデル地区にして話合いを設けてはどうかと意見があり、浦添市医師会に協力機関の推薦依頼を送ったところ、池村クリニックの推薦があった。

先日、池村クリニックの院長を交えてWGを行ったところ、連携について池村クリニックは積極的に協力してくれることや、うまくいったら他の関連する施設に声かけをすることだった。現在、池村クリニックより、かかりつけ施設の申請があり九州厚生局に申請中であることが報告された。

南さんより、他県の活動状況について報告があった。

[協議事項]

1. 今年度の事業計画の実施について

仲本委員より、資料6に基づき、平成26年度の事業計画について、11の施策があり、進めていることが報告された。

2. 地域連携パスの普及の方策について

佐村部会長より、地域連携パスの普及について、琉大ではシエントや医療支援課と協力して勧められていることが報告され、他に普及の方策についてご意見を伺いたいと依頼があった。

照屋委員より、化学療法パスの方が進むのではないかと意見があった。

宮里副部会長より、パスが出来た経緯、ガイドラインが出たことでがん難民がほとんどいなくなっていることや全国的に認知度が低いことが報告された。しかし、医療機関の役割分担や国がかかりつけ施設を進めていることもあるため、パスはそれに有意なツールになることや、術後だけでなく化学療法をしている患者さんが、吐き気や調子が悪い時にかかりつけ施設に対応して頂くことを考えているとのことだった。

高江洲和代委員より、院外に出ることを心配される患者さんもいるので、双方で診ることをきちんと説明したら納得されたことなど、院内での対応について説明があった。まったく来ない患者さんもいるため、フォローについて確認を行う予定であることが報告された。

高江洲アヤ子委員より、患者サロンなどで私のカルテの説明のセッションを行ったことが報告された。患者さんにより分かって頂くよう普及活動を今後も行っていくとのことだった。

真鶴委員より、県とホテル業が連携して滞在費用の負担軽減があることをマスコミで知ったが、こういった支援体制があることを病院側からも患者に周知して欲しいと意見があった。

3. 部会の見直しについて（がん政策部会より提案）

増田委員より、がん政策部会から部会が設置されて6年になるので、業務の見直しを1年かけて行ってはどうかと提案があったことが報告された。佐村部会長より、部会名、業務の見直しについては、ゆっくり考えて頂いてご意見があれば頂きたいとのことだった。

4. 胃がんと大腸がんの化学療法のパスについて

佐村部会長より、資料7の大腸がんの化学療法のパスについて説明があり、一方通行で行う分にはいいが、化学療法の患者さんを専門施設とかかりつけ施設の両方で診る場合にはそれでは不十分と意見があり、両方で行うものと一方通行で行うものの2種類を佐村部会長と宮里副部会長で作成することとなった。

5. その他

南さんより、会議には今まで途中退席していたが、今後、最後まで同席させて頂きたいと依頼があり、医療機能などのプライベートな話合いがあるときは退席して頂くこととし、承認された。

宮里副部会長より、新しい委員の方は用語など分からないところがあると思うので、説明をしながら進めて言ってはどうかと提案があり、次回より対応していくこととなった。

6. 次回の開催について

⇒ 平成26年度第3回地域ネットワーク部会は、10月8日(水)に開催することとなった。